

# 並松地区における景観づくり

---

令和元年10月4日

近畿地方整備局

福知山河川国道事務所

1. 前回検討会の概要
2. 住民のヒアリング結果
3. 前回検討会・ヒアリング意見を踏まえた確認
  - ①松並木・桜並木について
  - ②河川利用について
  - ③並松地区の景観特性について
4. 整備場所のイメージ例
5. 景観整備コンセプト(案)

# 1. 前回検討会の概要

## 第1回並松地区堤防景観検討会 概要

- 日 時：平成31年2月4日（月）
- 場 所：綾部市市民センター
- 議 事：並松地区堤防景観検討会の趣旨、規約の説明、座長の選出  
由良川水系河川整備計画での並松地区について  
並松地区の景観（歴史風景、特徴等）に関して

### ■主な意見

#### ◆松・桜並木の保全・再生

- ・ 当時の松並木も現在の桜並木も非常に趣がある。今後この風景をどのように保全、もしくは再生するかは地元で議論して決めるべきである。
- ・ 松並木や堤防などの単体で景観を検討するのではなく、街並みも含めた一体的な検討をすべきである。

#### ◆堤防の整備方針

- ・ 堤防の整備箇所によっては、塀の様な堤防が高く立ち上がるため、強い圧迫感が生じる。道路側から河川への視界確保のためにも、府道のかさ上げを検討すべきである。
- ・ 水辺に降りられる場所は重要。新しい護岸にもデザインとして落とし込んで欲しい。

#### ◆対策事業の早期実現

- ・ 予算の問題も考慮しつつ、景観を配慮した堤防整備をできるだけ早期にお願いしたい。

## 2. 住民のヒアリング結果①（並松・味方地区代表者へヒアリング）

令和元年5月28日実施

### ① 松並木・桜並木について

- ・ 現在の並松地区のイメージは桜並木と綾部大橋の風景。 堤防事業で伐採されてしまうと、マイナスのイメージは否めない。
- ・ 地元の人には松並木を復活させてくれると喜ぶとは思いますが、その後の管理の担い手については、維持可能か議論が必要。

### ② 河川利用について

- ・ 現在の日常利用は散歩利用。 自治会で毎年秋に堤防上道路を歩く「歩こう会」を実施している。由良川の河川敷からの眺望は美しく、歩いていて気持ちが良い。
- ・ 以前は子供たちが川で泳ぐ姿が見られた。綾部小学校にプールができてからは川遊びをする子供の姿は減った。川との繋がりが希薄になってきている印象。
- ・ 現代の子供達にも由良川の水辺で魚釣りや川遊びをさせたいと思っている。

### ③ イベントについて

- ・ 綾部市の花火大会の観覧席として、広野綾部線を封鎖して、階段護岸と船着場と併せて観覧席にしようかという案がある。

### ④ その他（道路嵩上げについて）

- ・ 堤防整備に合わせて道路嵩上げを実施していただきたい。

## 2. 住民のヒアリング結果②（並松地区事業者へヒアリング）

令和元年9月9日実施

### ① 松並木・桜並木について

- 現在の並松地区にとって、由良川沿いの桜はシンボルなので、整備での伐採はやむを得ないが、整備後には苗木を植え直すなどして欲しい。
- 自治会で松を植え直すという議論は過去にもあったが、堤防改修や道路の再整備が行われるとの情報もあり、現在では地域の話題に上がらない。

### ② 河川利用について

- 綾部市のなかでも並松地区は、山紫水明な場所として当時から認知されていた。
- 屋形船や渡し舟を復活させて欲しいという料理旅館利用者からの声は今でもある。
- ヘラブナ釣りに訪れ、宿泊するお客さんもいる。（年に何グループか）

### ③ イベントについて

- 由良川をフィールドとしたカヌー教室や、周辺をコースにしたサイクリングイベントなどが企画・運営されている。

### 3. 前回検討会・ヒアリング意見を踏まえた確認

#### ① 松並木・桜並木について

##### ◆ 松並木について

- 江戸時代初期、初代綾部藩主によって由良川河畔に松を植えられ、後に美しい大松になった。
- 昭和28年の大洪水によって、並松河畔の松の多くが流出した。



並松の松並木(明治40年代)

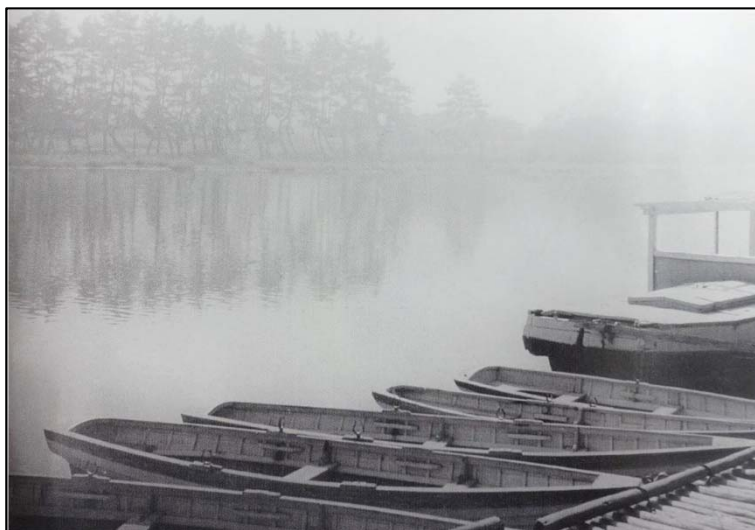
【出典:並松史<並松町自治会2005>】



松並木の伐採を伝える記事(平成初期)

【出典:並松史<並松町自治会2005>】

- 以前は対岸の味方にも松並木があり、並松と併せて地域を代表する景色となっていた。
- 並松では松並木と桜並木が同時期に存在する時代があった。



味方の松並木(昭和27年)

【出典:ゆらがわ写真集<福知山河川国道事務所2003>】



桜咲く並松河畔(昭和30年代)

【提供:綾部市資料館】

#### ②河川利用について

綾部大橋から見た並松地区(昭和31年)



#### 《並松の風景》

- 基本的な施設の配置や構造は当時と変化はない
- 松並木、桜並木は当時から並松を代表する景色だった

【出典：地域住民ヒアリング（5/28、9/9に実施）】

### 3. 前回検討会・ヒアリング意見を踏まえた確認

#### ②河川利用について

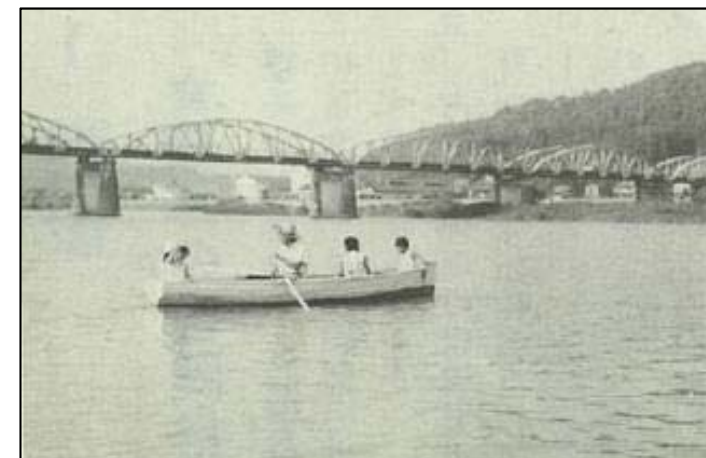
##### ◆河川利用について

- 並松は明治40年頃から遊船場として知られた観光地であった。
- 昭和期にも由良川ではボート遊びが盛んに行われており、当時の写真が数多く残っている。



並松遊船場(明治45年)

【出典:目で見える福知山・綾部の100年<郷土出版社1995>】



並松ボート遊び(昭和34年)

【出典:並松史<並松町自治会2005>】

- 味方には紫水園という遊園地があり、多くの来場者で賑わっていた。
- 並松周辺では、綾部井堰によって湛えられた水面を遊泳する姿も見られた。(写真は並松の上流野田町のもの)



味方の紫水園遊園地(昭和30年)

【出典:福知山・綾部の昭和<樹林社2019>】



野田町での由良川遊泳(昭和28年)

【出典:ゆらがわ写真集<福知山河川国道事務所2003>】



### 3. 前回検討会・ヒアリング意見を踏まえた確認

#### ②河川利用について

##### ◆漁業について

- ・ 現在、漁業はほぼ行われていない。鮎釣りは僅かながら行われている。

##### ◆レジャーについて

- ・ 春の花見スポット、夏のあやべ水無月まつりの花火大会の鑑賞場所として、来訪者に利用されている。
- ・ アウトドアメーカー主催のカヌー教室やサイクリングイベントも行われている。

##### ◆日常利用について

- ・ 住民が散歩コースとして整備区間を利用している。秋には堤防上を歩く「歩こう会」を実施中。
- ・ 綾部高校ボート部の艇庫が整備箇所の周辺にあり、由良川の水面で活動を行っている。

##### ◆船着き場利用について

- ・ 現在の日常的な利用は釣りのみ。ヘラブナ釣りなどが行われている。
- ・ お盆には、船着き場に祭壇を設置し、川施餓鬼を行っている。（2019年は中止）

【出典：地域住民ヒアリング（5/28、9/9に実施）】



綾部大橋と綾川河畔の桜の風景



水無月祭での灯籠流し

【出典：綾部市HP】



水無月祭での花火

【出典：綾部市観光ガイドHP】



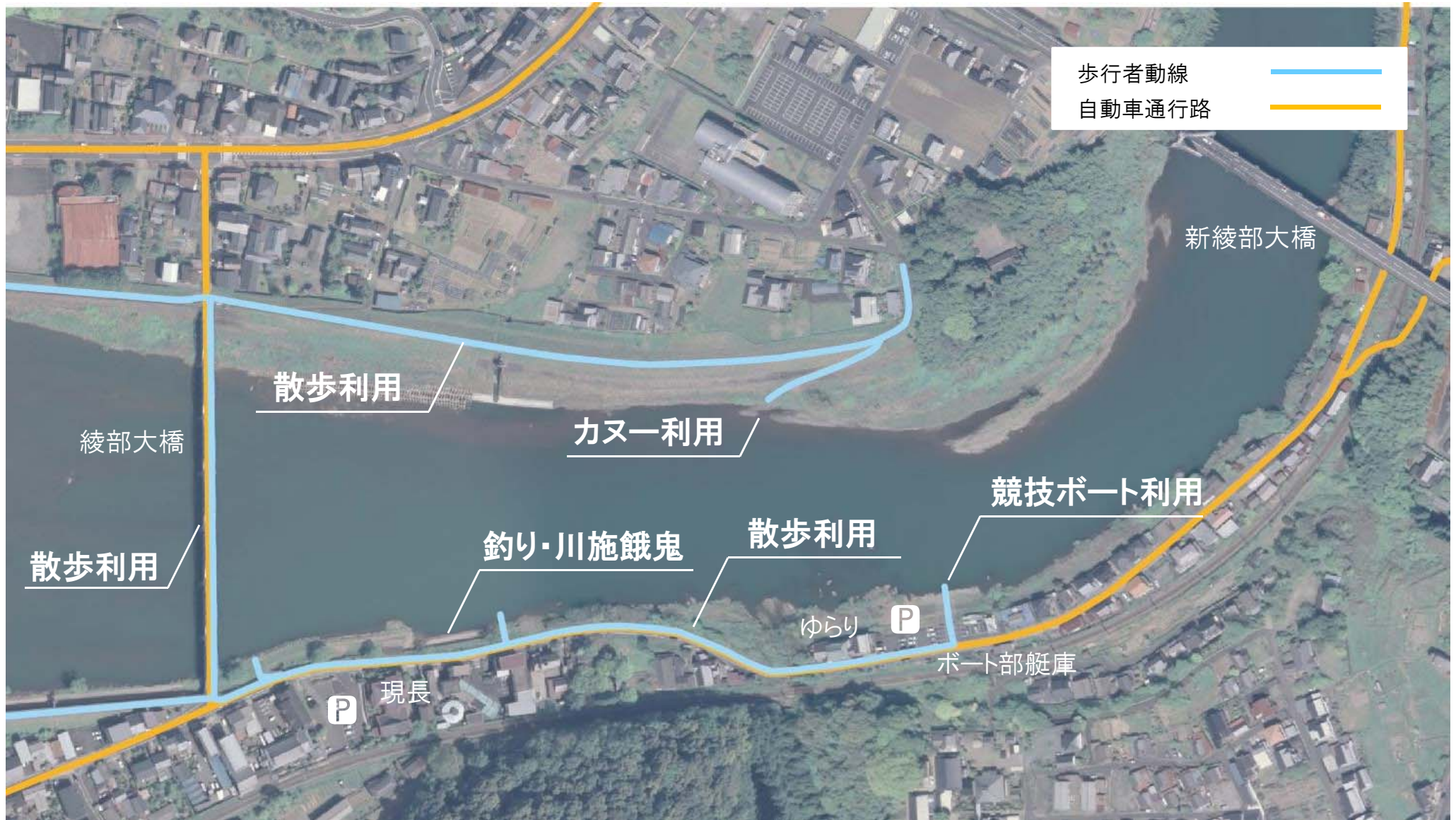
ボート部による河川利用

【提供：綾部市資料館】

### 3. 前回検討会・ヒアリング意見を踏まえた確認

#### ②河川利用について

#### ◆主要な動線(歩行者・自動車)



【現地調査・地域住民ヒアリングの結果を反映(5/28、9/9に実施)】

### 3. 前回検討会・ヒアリング意見を踏まえた確認

#### ③並松地区の景観特性について

##### ◆主な景観構成要素



国登録有形文化財 綾部大橋  
(平成17年指定)



階段護岸



船着場跡



綾部床止め



河畔の桜並木①  
(綾部大橋から)



河畔の桜並木②

### 3. 前回検討会・ヒアリング意見を踏まえた確認

#### ③並松地区の景観特性について

##### ◆主要視点場

主要な動線と主な景観構成要素を踏まえ、4箇所の主要視点場を抽出した。

①味方側の堤防上から左岸の石積護岸と桜並木、綾部大橋を一望した視点場



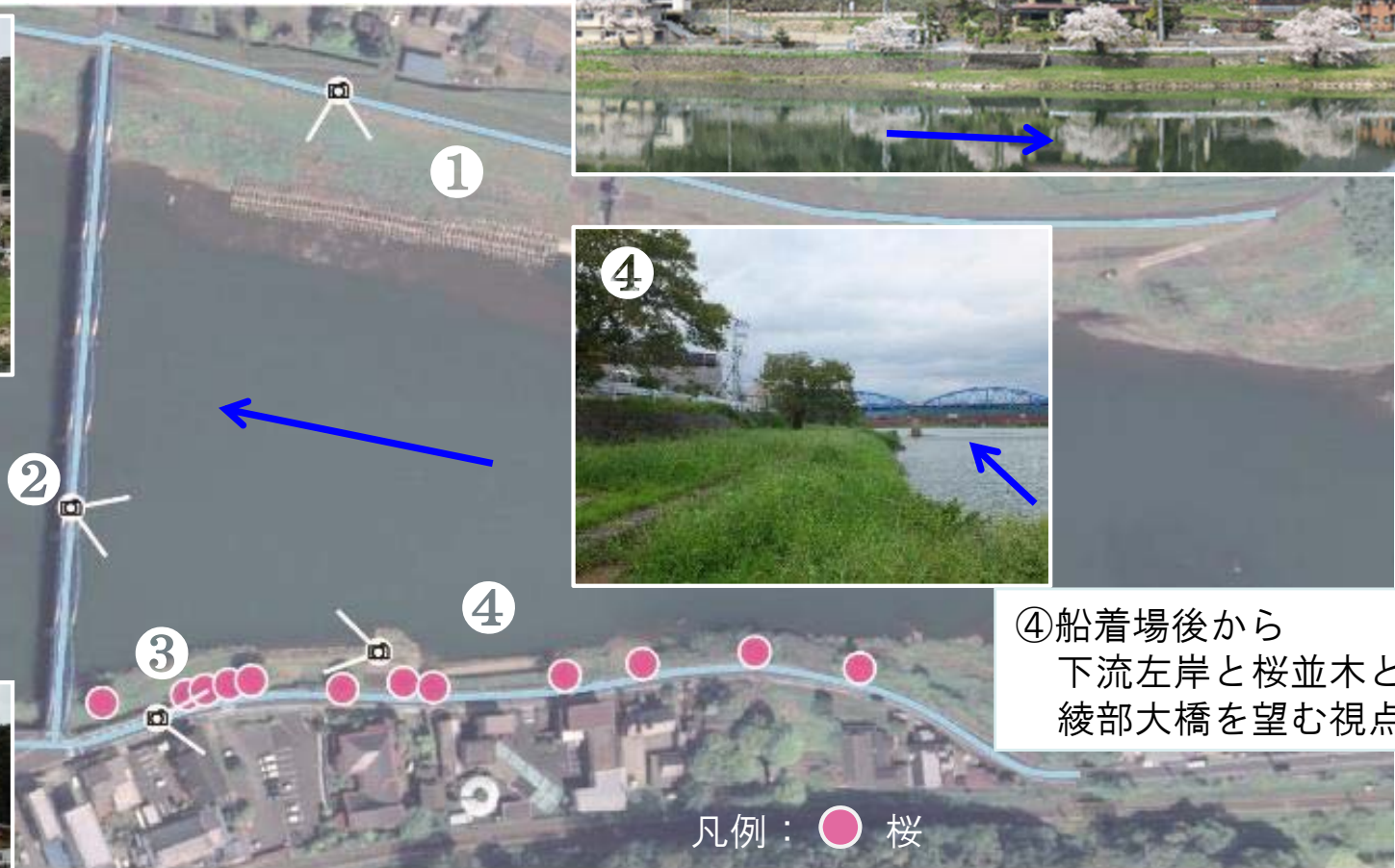
②綾部大橋から  
上流左岸の石積護岸と  
桜並木を望む視点場



④船着場後から  
下流左岸と桜並木と  
綾部大橋を望む視点場



③府道広野綾部線より  
上流側を望む視点場



# 4. 整備場所のイメージ例



## 5. 景観整備コンセプト(案)

### ① 趣きがある並松の風景を継承

- 松並木の再生、もしくは現在の並松を代表する風景である桜並木の再整備について実施可否も含め検討する。
- 防災機能を強化しつつ、由良川と街並みも含めて一体的に並松の水辺空間を検討する。

### ② 河川利用に配慮した施設計画

- 散歩利用者が快適・安全に利用できる河川空間を検討する。
- 現状の河川利用を踏まえ、親水性を有する水辺空間を検討する。

### ③ 並松・味方地区からの眺望を考慮した施設計画

- 対岸(味方地区)、綾部大橋からの視点場も踏まえ、施設計画を検討する。
- 府道広野綾部線を通過する利用者、及び運転者からの視点も踏まえ、構造を検討する。



松並木と並松地区



桜と綾部大橋



水無月祭での灯籠流し



水無月祭での  
花火